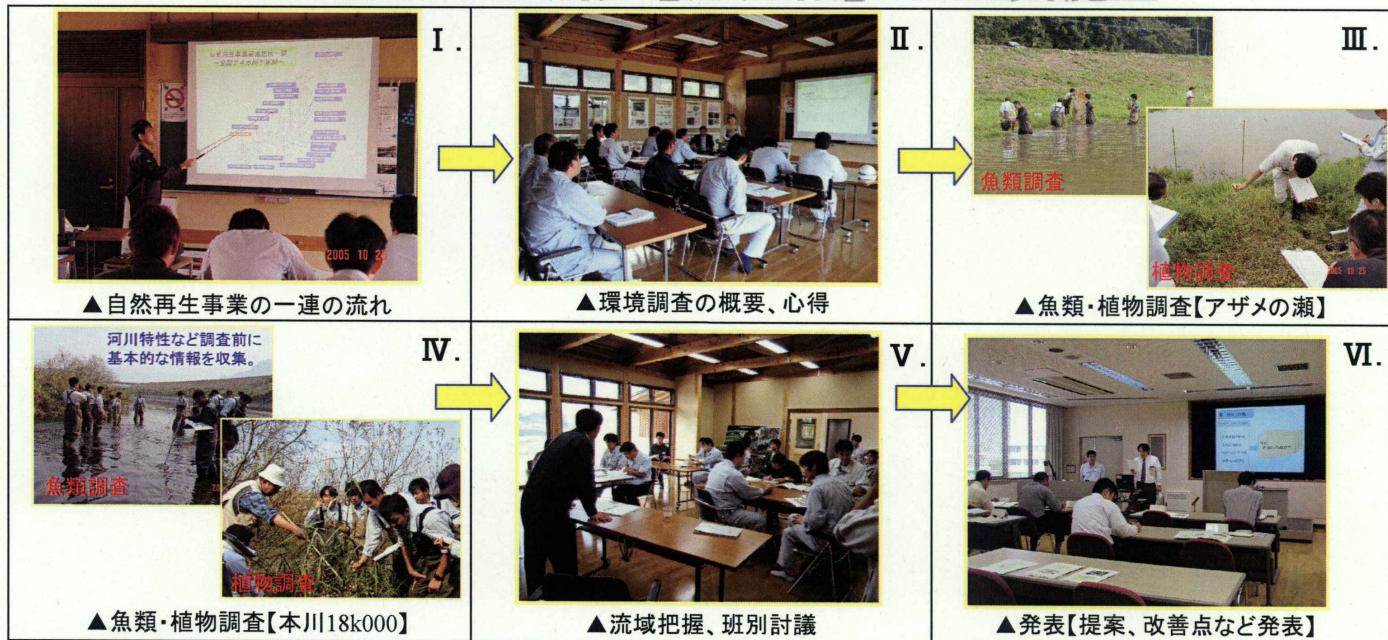




# アザメ新聞 (号外7)

平成17年11月11日発行

## 松浦川『アザメの瀬』自然再生事業における ”河川実地研修【応用編】“の実施!!



### 背景

- 河川事業において河川環境の必要性は増大しているが、河川技術者の河川環境に関する知見及び現場経験の不足
- 河川環境に関する知識と現場経験を向上させる必要性
- 現場経験には実践形式の研修を行う必要性
- 長期的に河川技術者を育成していく必要性

- ・アザメの瀬の形態が環境学習に好適
- ・順応的な自然再生事業に伴い、データを蓄積
- ・アザメの瀬において環境を学習する多様なメニューが存在
- ・土研自然共生センター等多くのアドバイザーとの連携協力体制

- 『アザメの瀬』を河川環境の実地研修フィールドとして活用する
- 対象者に応じた段階的な研修カリキュラムを構築する

### [段階的な研修ステップ]

**【入門編】**  
対象: 河川実地研修(2年目職員)  
時期: 8/30午後実施済み(晴れ)

目的: 河川環境を知るための現場経験  
内容: 河川環境のフィールドの基本を実体験

**【実践編】**  
対象: 3年目職員～主任級  
時期: 5/30～6/2実施済み(晴)

目的: 本格的な調査体験を通じて、河川環境の基礎を理解  
内容: 現場経験として植物・魚類の調査を実践

**【応用編】**  
対象: 係長級  
時期: 10/24～10/28実施

目的: 河川環境の理解と実践に向けての応用  
内容: 整備計画の目標論から体系的に学習  
現場経験を用いた演習

今回実施!

# [河川実地研修 (応用編) H17.10.25~10.26]

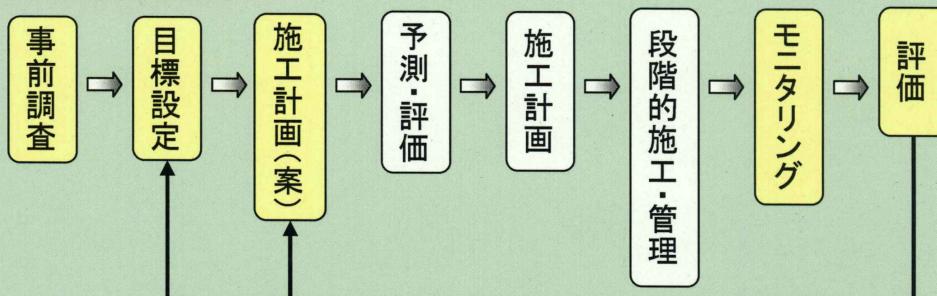
## 研修生11名参加!!! (係長クラス)

～ アザメの瀬を題材に自然再生事業の一連の流れを習得しよう！！～

◎自然再生事業の一連の流れを理解してもらうため、松浦川の流域の概要や自然再生の考え方について分かりやすい講義がありました。研修生一同真剣な面持ちで受講していました。

### 自然再生事業の実施フロー

※ ■部分を、今回研修で学びました。



状況に応じて計画内容にフィードバック

### 【環境調査】魚類調査・植物調査

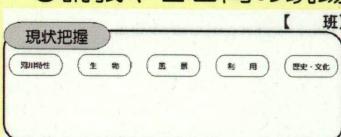
◎目標の設定前に必要な事前調査である環境調査における、調査計画や手法、安全管理について研修生に学んで頂きました。また、アザメの瀬内に入り魚類調査・植物調査を行いました。松浦川本川とアザメの瀬の2カ所、2日間実施しました。



▲魚類調査での体長計測風景 ▲植物把握におけるコドラー調査実施風景(調査票へ記入)  
(一人一人が計測、記入)

### 【グループ討議】

◎講義や2日間の現場実習より学んだことから、研修生は各々のグループでアザメの瀬について熱く討議しました。



アザメの瀬って??  
評価??目標??



▲グループ討議風景

▲一連の流れを整理するためのフロー

研修生の考えた今後のアザメとは…

**目標：氾濫原的湿地の再生  
人と生物のふれあいの再生**

2日間の現地研修を終え、自然再生の目標内容に対して、分析・評価を行い、計画に対しての提案等を行いました。

### 【提案内容】

- ・アザメの瀬全体地盤の掘削→攪乱による樹林化防止
- ・上流部の開削による河川水の引き込み  
→水量確保による流れの復元、攪乱作用の復元
- ・魚類の生息(生育)環境の創出→本川の生育環境改善
- ・上流からの土砂等栄養源の供給→本川護岸の改良
- ・もう一つのアザメの瀬を整備→比較、観察し、手直し。

### 【課題の抽出】

- ・湿地化の過渡期にあるアザメの瀬の状況把握と見直し
- ・外来種対策
- ・干陸化に対する管理対策